

	共通	国際	伝統	国言	福祉	臨床	健康	子ども	経営	大学院	合計
科目数	14	18	6	11	2	45	35	84	57	12	284
履修者数	655	637	141	266	49	3867	1663	6550	5657	209	19694人
回答者数	337	367	108	195	29	1460	795	4558	2639	94	10582人
回答率	51.5%	57.6%	76.6%	73.3%	59.2%	37.8%	47.8%	69.6%	46.7%	45.0%	53.7%
回答率(2019後期)	54.3%	86.2%	74.0%	76.2%	67.2%	65.9%	74.7%	87.3%	64.9%	89.8%	74.5%

(2019前期)

(遠隔) (対面) (対面)
2020 2019 2019
前期 後期 前期

質問項目	全体平均	全体平均	全体平均	標準偏差	Q20 相関係数	回答数				
						4	3	2	1	総数

I. あなた自身について (学生努力)

Q7 この授業への出席状況(オンデマンド型、教材配布型の授業の場合は、課題提出回数などで回答してください) ①12回 ②10～11回 ③8～9回 ④7回以下	3.78	3.28	3.43	0.51	0.12	90	179	1746	8567	有効 10582
						0.9%	1.7%	16.5%	81.0%	無効 0
Q8 この授業のシラバスの内容(授業の目的、到達目標、授業計画、成績評価基準等)を読んで履修していますか ①読んでいた ②ある程度読んでいた ③あまり読まなかった ④読まなかった	3.07	2.98	2.88	0.81	0.28	475	1713	4997	3397	有効 10582
						4.5%	16.2%	47.2%	32.1%	無効 0
Q9 この授業のために予習をしていましたか。 ①予習をしていた ②ある程度予習をしていた ③あまり予習をしていなかった ④予習をしていなかった	2.42	2.67	2.53	0.91	0.17	1648	4206	3326	1402	有効 10582
						15.6%	39.7%	31.4%	13.2%	無効 0
Q10 この授業のために復習をしていましたか。 ①復習をしていた ②ある程度復習していた ③あまり復習をしていなかった ④復習をしていなかった	2.78	2.74	2.60	0.87	0.27	934	2653	4781	2214	有効 10582
						8.8%	25.1%	45.2%	20.9%	無効 0
Q11 この授業には、熱心に取り組みましたか。 ①熱心に取り組んだ ②ある程度熱心に取り組んだ ③あまり熱心に取り組まなかった ④熱心に取り組まなかった	3.47	—	—	0.63	0.54	91	476	4374	5641	有効 10582
						0.9%	4.5%	41.3%	53.3%	無効 0

II. 教員について (教員努力)

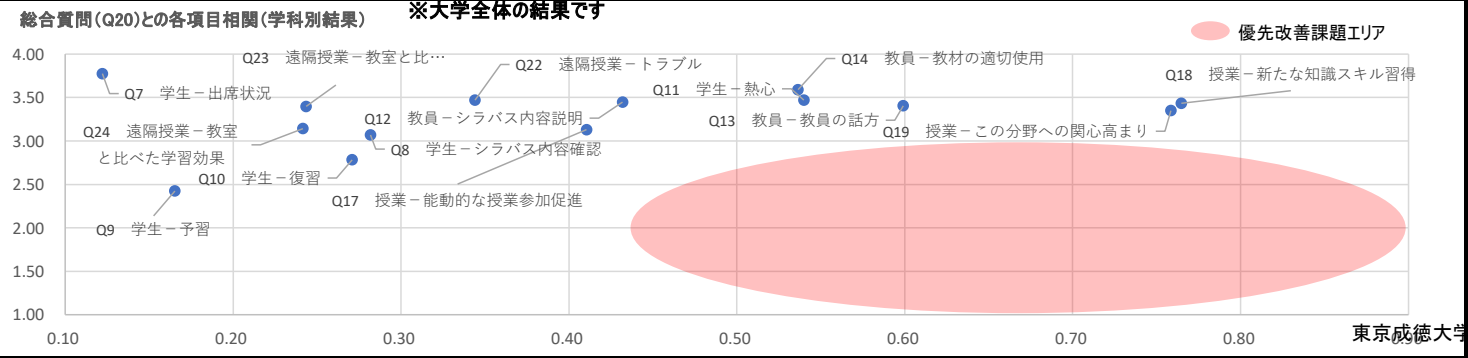
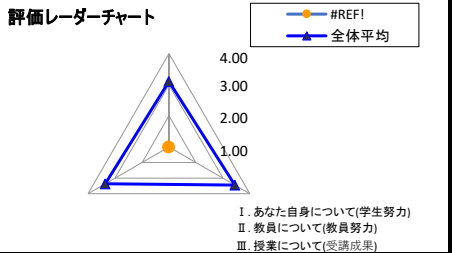
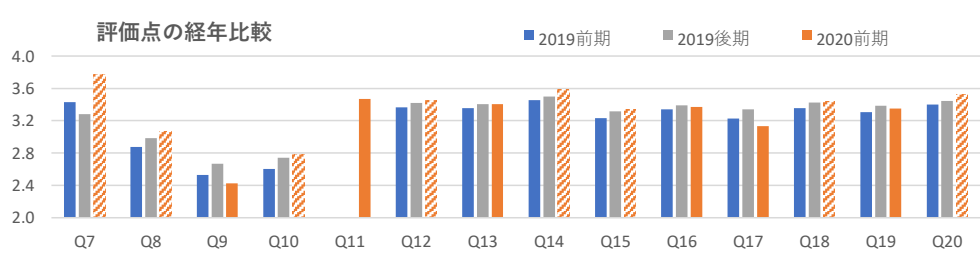
Q12 教員は授業の初回でシラバスの内容(授業の目的、到達目標、授業計画、成績評価基準等)を説明しましたか ①説明された ②ある程度説明された ③あまり説明されなかった ④説明されなかった	3.45	3.42	3.37	0.64	0.43	115	535	4433	5499	有効 10582
						1.1%	5.1%	41.9%	52.0%	無効 0
Q13 教員の話し方や情報提示、課題提示の仕方は、わかりやすかったですか。 ①わかりやすかった ②ある程度わかりやすかった ③あまりわかりやすくなかった ④わかりやすくなかった	3.40	3.41	3.36	0.73	0.60	240	800	3983	5559	有効 10582
						2.3%	7.6%	37.6%	52.5%	無効 0
Q14 教員は、教材(テキスト、スライド、配付資料、動画、その他)を適切に使用して授業を行っていましたか。 ①行われていた ②ある程度行われていた ③あまり行われていなかった ④行われていなかった	3.59	3.50	3.46	0.61	0.54	92	385	3282	6823	有効 10582
						0.9%	3.6%	31.0%	64.5%	無効 0
Q15 教員は、事前・事後学修についての指導を行っていましたか。 ①行われていた ②ある程度行われていた ③あまり行われていなかった ④行われていなかった	3.34	3.31	3.23	0.72	0.45	196	945	4491	4950	有効 10582
						1.9%	8.9%	42.4%	46.8%	無効 0

III. 授業について (授業理解度)

Q16 この授業の内容は、わかりやすかったですか。 ①わかりやすかった ②ある程度わかりやすかった ③あまりわかりやすくなかった ④わかりやすくなかった	3.37	3.39	3.34	0.73	0.65	259	847	4195	5281	有効 10582
						2.4%	8.0%	39.6%	49.9%	無効 0
Q17 この授業は、知識の伝達だけではなく、学生の授業への能動的な参加を促す形で行われていましたか。 ①行われていた ②ある程度行われていた ③あまり行われていなかった ④行われていなかった	3.13	3.34	3.23	0.90	0.41	664	1709	3789	4420	有効 10582
						6.3%	16.2%	35.8%	41.8%	無効 0
Q18 この授業を受けて、新たな知識やスキルを習得できましたか。 ①習得できた ②ある程度習得できた ③あまりできなかった ④できなかった	3.43	3.42	3.35	0.68	0.76	176	626	4212	5568	有効 10582
						1.7%	5.9%	39.8%	52.6%	無効 0
Q19 この授業を受けて、この分野についての関心が高まりましたか。 ①高まった ②ある程度高まった ③あまり高まらなかった ④高まらなかった	3.35	3.39	3.31	0.75	0.76	272	959	4153	5198	有効 10582
						2.6%	9.1%	39.2%	49.1%	無効 0
Q20 この授業を受けて、自分のためになりましたか。 ①ためになった ②ある程度ためになった ③あまりためにならなかった ④ためにならなかった	3.52	3.44	3.40	0.67	1.00	163	533	3475	6411	有効 10582
						1.5%	5.0%	32.8%	60.6%	無効 0

IV. 遠隔授業について

Q21 この授業で、遠隔授業の受講は主にどの端末で行いましたか。 ①デスクトップPC(Windows) ②デスクトップPC(Mac) ③ノートPC(Windows) ④ノートPC(Mac) ⑤タブレット(iPad) ⑥タブレット(android) ⑦スマホ(iPhone) ⑧スマホ(android) ⑨その他	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	総数
	2282	265	4732	689	691	106	1615	149	39	有効 10568
	21.6%	2.5%	44.8%	6.5%	6.5%	1.0%	15.3%	1.4%	0.4%	無効 14
質問項目	全体平均	標準偏差	Q20 相関係数	回答数					総数	
Q22 この授業で、遠隔授業の受講はトラブルなどなく、うまくできましたか。 ①できた ②ある程度できた ③あまりできなかった ④できなかった	3.47	0.65	0.34	5	4	3	2	1	有効 10546	無効 36
Q23 この授業で、遠隔授業の受講のしやすさは、教室で行う場合と比べて、どうでしたか。 ①良かった ②やや良かった ③同じ ④やや悪かった ⑤悪かった	3.40	1.20	0.24	604	1948	3235	2135	2607	有効 10529	無効 53
Q24 この授業で、遠隔授業の学修効果は、教室で行う場合と比べて、どうでしたか。 ①上がった ②やや上がった ③同じ ④やや下がった ⑤下がった	3.14	1.11	0.24	704	2131	4329	1713	1659	有効 10536	無効 46



2020年度前期 全学授業評価アンケート集計結果の主要Facts

1. 総論

・遠隔授業への全体的評価

- Q21.使用端末 PC:75.4%、スマホ:16.7%、タブレット:7.5%
- Q22.トラブルなく受講 「できた・ある程度できた」:93%
- Q23.対面授業と比べての受講しやすさ 「良かった・やや良かった」:45.1%、「悪かった・やや悪かった」:24.2%
- Q24.対面授業と比べての学修効果 「上がった・やや上がった」:32.0%、「悪かった・やや悪かった」:26.9%

・項目全体の状況(Q7～Q20) 2019年度前期以降の共通質問項目13のうち8項目で最高値

・各項目群(Ⅰ.学生努力、Ⅱ.教員努力、Ⅲ.授業理解)の状況

Ⅰ(学生努力)、Ⅱ(教員努力)は上昇(参考、共通質問項目Q7～Q10、Q12～15の合計:11.4→11.7→12.1、13.4→13.6→13.8)

Ⅲ(授業理解)はやや低下(参考、Q16～20の合計:16.6→17.0→16.8)

Ⅱ(教員努力) > Ⅰ(学生努力)、であるが、差は縮小(共通質問項目の合計差、1.97→1.96→1.73)

・総合質問「Q20.自分のためになった」との相関関係 「教員努力」>「学生努力」

- ・遠隔授業はほぼトラブルなく受講でき、受講のしやすさや学修効果も対面授業と比べ遜色ないものであった。
- ・「教員努力」「学生努力」とも全体的に評価点が上昇し、「教員努力」と「学生努力」の差も縮小傾向となっている。
- ・課題 ①学生努力の評価点の上昇はQ7(出席)に負うところが大きい。対面授業でもこの出席率をいかに維持するか。
②Q9(予習)の評価点が他の項目に比べて低い。いかに改善させるか。

2. 「学生努力」について

- ・評価点が高い項目 「Q3.出席」→ 2019前・後と同じ、「Q11.授業に熱心に取り組む」(新)
- ・評価点が低い項目 「Q6.予習」「Q7.復習」→ 2019前・後と同じ

授業内では一定の努力をするが予習・復習への取り組みは依然不十分である。後者の改善が引き続き課題である。

3. 「教員努力」について

- ・評価点が高い項目 「Q14.教材の適切な使用」→ 2019前、2019後と同じ、「Q12.シラバスの説明」→ 2019後と同じ
- ・評価点が低い項目 「Q5.事前・事後学修の指導」→ 2019前・後と同じ

事前・事後学修の指導が依然として評価点がやや低い。Q9、Q10改善のためには積極的な指導が必要。

4. 「授業について」について

- ・評価点が高い項目 「Q20.自分のためになった」→ 2019前・後と同じ、「Q18.新たな知識やスキルの習得」
- ・評価点が低い項目 「Q16.授業への能動的な参加促進」→ 2019前・後と同じ

「授業への能動的参加促進」の評価値が下がっている。遠隔授業の影響は考えられるが、例年低い。アクティブラーニングなどの活用をいかに進めるかが依然として課題である。

5. 総合質問「Q20.自分のためになった」との相関関係

	第1位	第2位
2019年度前期	Q18.新たな知識・スキル、Q19.分野への関心	Q15.授業内容の分かりやすさ
2019年度後期	Q18.新たな知識・スキル、Q19.分野への関心	Q15.授業内容の分かりやすさ
2020年度前期	Q18.新たな知識・スキル、Q19.分野への関心	Q16.授業内容の分かりやすさ

6. 授業形態別集計、履修者数別集計

- ・授業形態別集計 2019年度前期・後期、2020年度前期とも → 「演習」>「講義」

(参考)2020年度前期の全項目の合計＝講義:45.5、演習:48.0、実技:44.2、実験:46.3、実習:50.2(「実技」「実験」「実習」はサンプル数が少ないので参考情報とする)。

- ・履修者数別集計

(注)少人数(16～39人)
中人数(40～99人)
大人数(100人以上)

	高評価(全項目合計値)	低評価(全項目合計値)
2019年度前期	少人数(57.1)	大人数(55.4)
2019年度後期	中人数(59.6)	大人数(58.1)
2020年度前期	中人数(46.7)	大人数(45.8)

2020年度後期 東京成徳大学授業評価アンケートの集計結果の概要（大学全体、経年・期比較含む）

1. 調査目的
- 「東京成徳大学学生による授業評価実施規定」第2条による。
2. 調査対象
- 東京成徳大学が開講する授業科目（専任、非常勤教員）のうち同規定第3条に定めるもの
3. 実施期間
- 2020年12月7（月）～1月18日（月）
4. 回収状況

	共通	国際	伝統	国言	福祉	臨床	健康	子ども	経営	大学院	合計
授業数	10	22	11	9	2	47	48	97	62	12	320
（回答0授業）	0	3	5	0	1	1	12	13	7	1	43
履修者数	302	608	250	213	18	3,797	1,977	6,682	4,343	207	18,397
回答0授業を除く履修者数	302	532	131	213	13	3,778	1,565	5,650	4,121	191	16,496
回答者数	80	239	83	105	8	1,289	799	2,614	1,661	76	6,954
回答率	26.5%	39.3%	33.2%	49.3%	44.4%	33.9%	40.4%	39.1%	38.2%	36.7%	37.8%
回答0授業を除く回答率	26.5%	44.9%	63.4%	49.3%	61.5%	34.1%	51.1%	46.3%	40.3%	39.8%	42.2%
回答率（2020前期）	54.3%	86.2%	74.0%	76.2%	67.2%	65.9%	74.7%	87.3%	64.9%	89.8%	74.5%

(遠・対) (遠隔) (対面) (対面)
2020 2020 2019 2019
後期 前期 後期 前期

質問項目	全体平均	全体平均	全体平均	全体平均	標準偏差	Q20 相関係数	回答数				
							4	3	2	1	総数

I. あなた自身について（学生努力）

Q7 この授業への出席状況（オンデマンド型、教材配布型の授業の場合は、課題提出回数などで回答してください） ①12回 ②10～11回 ③8～9回 ④7回以下	3.61	3.78	3.28	3.43	0.61	0.09	20 0.3%	399 5.7%	1840 26.5%	4695 67.5%	有効 6954 無効 0
Q8 この授業のシラバスの内容（授業の目的、到達目標、授業計画、成績評価基準等）を読んで履修していましたか。 ①読んでいた ②ある程度読んでいた ③あまり読まなかった ④読まなかった	3.01	3.07	2.98	2.88	0.85	0.25	391 5.6%	1307 18.8%	3116 44.8%	2140 30.8%	有効 6954 無効 0
Q9 この授業のために予習をしていましたか。 ①予習をしていた ②ある程度予習をしていた ③あまり予習をしていなかった ④予習をしていなかった	2.49	2.42	2.67	2.53	0.93	0.21	1023 14.7%	2578 37.1%	2252 32.4%	1101 15.8%	有効 6954 無効 0
Q10 この授業のために復習をしていましたか。 ①復習をしていた ②ある程度復習していた ③あまり復習をしていなかった ④復習をしていなかった	2.78	2.78	2.74	2.60	0.89	0.31	624 9.0%	1810 26.0%	2971 42.7%	1549 22.3%	有効 6954 無効 0
Q11 この授業には、熱心に取り組みましたか。 ①熱心に取り組んだ ②ある程度熱心に取り組んだ ③あまり熱心に取り組まなかった ④熱心に取り組まなかった	3.42	3.47	—	—	0.65	0.55	63 0.9%	428 6.2%	2957 42.5%	3506 50.4%	有効 6954 無効 0

II. 教員について（教員努力）

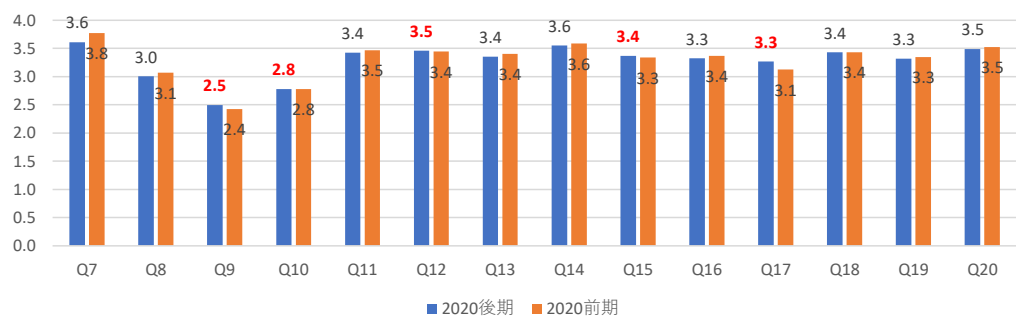
Q12 教員は授業の初回でシラバスの内容（授業の目的、到達目標、授業計画、成績評価基準等）を説明しましたか。 ①説明された ②ある程度説明された ③あまり説明されなかった ④説明されなかった	3.46	3.45	3.42	3.37	0.63	0.45	53 0.8%	362 5.2%	2884 41.5%	3655 52.6%	有効 6954 無効 0
Q13 教員の話し方や情報提示、課題提示の仕方は、わかりやすかったですか。 ①わかりやすかった ②ある程度わかりやすかった ③あまりわかりやすくなかった ④わかりやすくなかった	3.36	3.40	3.41	3.36	0.75	0.62	177 2.5%	630 9.1%	2690 38.7%	3457 49.7%	有効 6954 無効 0
Q14 教員は、教材（テキスト、スライド、配付資料、動画、その他）を適切に使用して授業を行っていましたか。 ①行われていた ②ある程度行われていた ③あまり行われていなかった ④行われていなかった	3.55	3.59	3.50	3.46	0.61	0.54	54 0.8%	292 4.2%	2367 34.0%	4241 61.0%	有効 6954 無効 0
Q15 教員は、事前・事後学修についての指導を行っていましたか。 ①行われていた ②ある程度行われていた ③あまり行われていなかった ④行われていなかった	3.37	3.34	3.31	3.23	0.71	0.50	122 1.8%	591 8.5%	2854 41.0%	3387 48.7%	有効 6954 無効 0

III. 授業について（授業理解度）

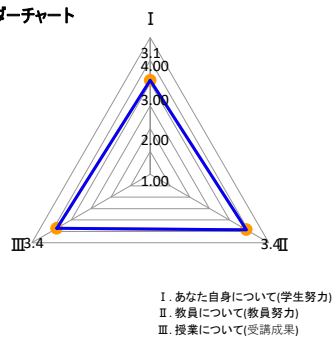
Q16 この授業の内容は、わかりやすかったですか。 ①わかりやすかった ②ある程度わかりやすかった ③あまりわかりやすくなかった ④わかりやすくなかった	3.32	3.37	3.39	3.34	0.76	0.67	206 3.0%	646 9.3%	2786 40.1%	3316 47.7%	有効 6954 無効 0
Q17 この授業は、知識の伝達だけではなく、学生の授業への能動的な参加を促す形で行われていましたか。 ①行われていた ②ある程度行われていた ③あまり行われていなかった ④行われていなかった	3.27	3.13	3.34	3.23	0.84	0.48	322 4.6%	810 11.6%	2507 36.1%	3315 47.7%	有効 6954 無効 0
Q18 この授業を受けて、新たな知識やスキルを習得できましたか。 ①習得できた ②ある程度習得できた ③あまりできなかった ④できなかった	3.43	3.43	3.42	3.35	0.69	0.78	112 1.6%	454 6.5%	2704 38.9%	3684 53.0%	有効 6954 無効 0
Q19 この授業を受けて、この分野についての関心が高まりましたか。 ①高まった ②ある程度高まった ③あまり高まらなかった ④高まらなかった	3.32	3.35	3.39	3.31	0.77	0.77	212 3.0%	689 9.9%	2699 38.8%	3354 48.2%	有効 6954 無効 0
Q20 この授業を受けて、自分のためになりましたか。 ①ためになった ②ある程度ためになった ③あまりためにならなかった ④ためにならなかった	3.49	3.52	3.44	3.40	0.69	1.00	130 1.9%	383 5.5%	2408 34.6%	4033 58.0%	有効 6954 無効 0

IV. 遠隔授業について

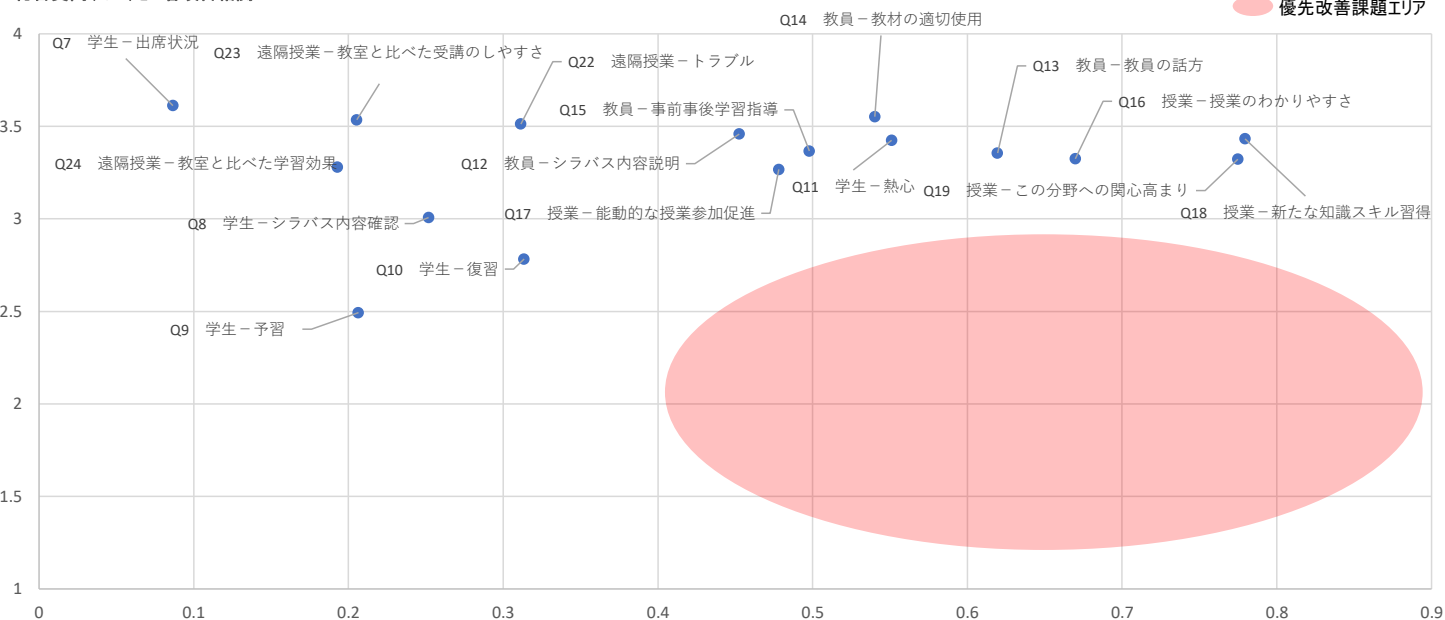
Q21 この授業で、遠隔授業の受講は主にどの端末で行いましたか。 ①デスクトップPC(Windows) ②デスクトップPC(Mac) ③ノートPC(Windows) ④ノートPC(Mac) ⑤タブレット(iPad) ⑥タブレット(android) ⑦スマホ(iPhone) ⑧スマホ(android)	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	総数
	1809	132	2961	483	377	24	930	94	—	有効 6810
	26.6%	1.9%	43.5%	7.1%	5.5%	0.4%	13.7%	1.4%	—	無効 144
(2020 前期)										
質問項目	全体平均		標準偏差	Q20 相関係数	回答数					
	後期	前期			5	4	3	2	1	総数
Q22 この授業で、遠隔授業の受講はトラブルなどなく、うまくできましたか。 ①できた ②ある程度できた ③あまりできなかった ④できなかった	3.51	3.47	0.63	0.31	—	60 0.9%	300 4.4%	2533 37.3%	3899 57.4%	有効 6792 無効 162
Q23 この授業で、遠隔授業の受講のしやすさは、教室で行う場合と比べて、どうでしたか。 ①良かった ②やや良かった ③同じ ④やや悪かった ⑤悪かった	3.54	3.40	1.16	0.21	281 4.1%	943 13.9%	2344 34.5%	1317 19.4%	1915 28.2%	有効 6800 無効 154
Q24 この授業で、遠隔授業の学修効果は、教室で行う場合と比べて、どうでしたか。 ①上がった ②やや上がった ③同じ ④やや下がった ⑤下がった	3.28	3.14	1.10	0.19	351 5.2%	1055 15.5%	3026 44.5%	1079 15.9%	1292 19.0%	有効 6803 無効 151



評価レーダーチャート



総合質問(Q20)との各項目相関



2020年度後期 東京成徳大学全学授業評価アンケート集計結果の主要Facts

1. 総論

- ・遠隔授業への全体的評価、()内は2020年度前期
 - Q21.使用端末 PC:79.1%(75.4%)、スマホ:15.0%(16.7%)、タブレット:5.9%(7.5%)
 - Q22.トラブルなく受講 「できた・ある程度できた」:94.7%(93%)
 - Q23.対面授業と比べての受講しやすさ 「良かった・やや良かった」:47.5%(45.1%)、「悪かった・やや悪かった」:18.0%(24.2%)
 - Q24.対面授業と比べての学修効果 「上がった・やや上がった」:34.9%(32.0%)、「悪かった・やや悪かった」:20.7%(26.9%)
- ・項目全体の状況(Q7～Q20、Q11除く) I～Ⅲの13の共通質問項目のうち2019年後期を上回ったのは8項目
- ・各項目群(I.学生努力、II.教員努力、Ⅲ.授業理解)の状況
 - I(学生努力)、II(教員努力)は2019年度後期と比べて若干上昇(参考、Q7～10の合計:11.7→11.9、IIの合計:13.6→13.7)
 - Ⅲ(授業理解)は2019年度後期に比べて若干下落(参考、Ⅲの合計:17.0→16.8)
 - II(教員努力) > I(学生努力)、であるが、2019年度後期と比べて差はやや縮小(Q7～Q10の合計とIIの合計の差:2.0→1.8)

- ・遠隔授業に対しては、2020年度前期同様一定の好評価が得られている。好評価の割合、受信環境の整備とも前期を上回った。
- ・「教員努力」「学生努力」とも2019年度後期と比べて評価点が若干上昇、「教員努力」と「学生努力」の差もやや縮小した。
- ・課題 ①学生努力の評価点の上昇はQ7(出席)に負うところが大きい。対面授業でもこの出席率をいかに維持するか。
②Q9(予習)、Q10(復習)の評価点が他の項目に比べて低い。いかに改善させるか。

2. 「学生努力」について

- ・評価点が高い項目 「Q3.出席」→ 2019後期・2020前期と同じ
「Q11.授業に熱心に取り組む」→ 2020前期と同じ
- ・評価点が低い項目 「Q6.予習」「Q7.復習」→ 2019後期・2020前後と同じ

- ・授業内では一定の努力をするが予習・復習への取り組みは依然不十分である。後者の改善が引き続き課題である。

3. 「教員努力」について

- ・評価点が高い項目 「Q14.教材の適切な使用」→ 2019後、2020前と同じ
「Q12.シラバスの説明」→ 2019後・2020前と同じ
- ・評価点が低い項目 「Q13.話し方・情報提示・課題提示のわかりやすさ」(初)
「Q5.事前・事後学修の指導」→ 2019後期・2020前期と同じ(ただし、評価点自体は上昇傾向)

- ・事前・事後学修の指導の評価点が依然として低い。Q9、Q10改善のためには積極的な指導が必要
- ・話し方・情報提示・課題提示のわかりやすさの評価点が下落傾向である。

4. 「授業理解度」について

- ・評価点が高い項目 「Q20.自分のためになった」
「Q18.新たな知識やスキルの習得」
 - ・評価点が低い項目 「Q16.授業への能動的な参加促進」
- 2019後期・2020前期と同じ

- ・「授業への能動的参加促進」の評価点が2019年度後期と比べて下落している。遠隔授業の影響は考えられるが、例年低い。アクティブラーニングの活用などをいかに進めるかが依然として課題である。

5. 総合質問「Q20.自分のためになった」との相関関係

	第1位	第2位
2019年度前期	Q18.新たな知識・スキル、Q19.分野への関心	Q15.授業内容の分かりやすさ
2019年度後期	Q18.新たな知識・スキル、Q19.分野への関心	Q15.授業内容の分かりやすさ
2020年度前期	Q18.新たな知識・スキル、Q19.分野への関心	Q16.授業内容の分かりやすさ
2020年度後期	Q18.新たな知識・スキル	Q19.分野への関心

6. 授業形態別集計、履修者数別集計

- ・授業形態別集計
- ・2019年度前期・後期、2020年度前期・後期とも → 「演習」>「講義」
(参考)2020年度後期のQ7～Q20の合計点 講義:44.8、演習:48.0、実技:47.0、実験:47.4、実習:47.4
(「実技」「実験」「実習」はサンプル数が少ないので参考情報とする)

・履修者数別集計

	高評価(全項目合計値)	低評価(全項目合計値)
2019年度前期	少人数(57.1)	大人数(55.4)
2019年度後期	中人数(59.6)	大人数(58.1)
2020年度前期	中人数(46.7)	大人数(45.8)
2020年度後期	中人数(46.4)	大人数(45.4)

(注)少人数(16～39人)
中人数(40～99人)
大人数(100人以上)